

小学4年生～
6年生対象

船橋市民ギャラリー夏休み企画
アーティストとこどもたちアート体験プロジェクト

いま
居間を生きる

～版画制作ワークショップ～

思い出の品を持ち寄って、版画作品にしてみよう！

小さいころに着ていたお気に入りの洋服、大切なぬいぐるみなどの日常生活で使っていた思い出の品をお持ちください。これらに自由に連想するイメージを絵具で描き、紙に写し取ります（モノタイプという技法の版画です、色をつけた思い出の品も作品になります）。

自宅の居間にある日常に存在する生活用品を取り出して、その「もの」との対話を通して“居間”＝“今”の私自身のイメージを紡ぎだしましょう。最後に、出来上がった作品にタイトルをつけて完成します。自由研究におすすめです。

8/
25
(Sun)



思い出を
プリントして
みよう！

講師：岩田 駿一（現代美術作家）

日時：8月25日（日）13:00～16:00

会場：船橋市民ギャラリー（船橋市本町 2-1-1 スクエア 21 ビル 3 階）

対象：小学4年生～6年生

参加費：500円

事前申し込み制。先着20名

持ち物：

- ①当日は汚れても良い服か、作業着などの着替えをお持ちください。
- ②モチーフにする思い出の品（布製が良い。洋服、バッグ、おもちゃ、ぬいぐるみなど）をお持ちください。

成果報告展

制作した作品を市民ギャラリーで
展示します。

日時：8月26日（月）

8月27日（火）

10:00～17:00

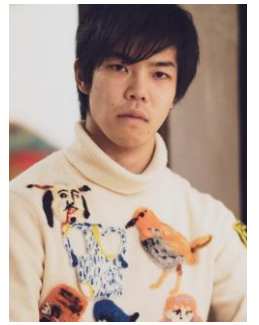
会場：第1ホール

入場無料

□ 講師プロフィール

いわだしゅんいち
岩田駿一

1990年静岡県生まれ、千葉県在住。2015年武蔵野美術大学造形学部油絵科版画専攻卒業、2018年東京藝術大学大学院修士課程美術研究科版画専攻修了。2018年「アートアワードトーキョー丸の内 2018」（御行地下ギャラリーほか、東京）に選ばれる。主な個展 2012年「ボーイ蜜ガール展」（PLATFORM STUDIO、銀座）、2013年「ボーイ蜜ガールはいつも番狂せ」（番狂せ、四谷）、2014年「くる日がほら、ゆくよ」（燕ギャラリー、四谷）など。主なグループ展に2018年「新創世記Ⅱ カインとアベル」（ギャラリー・マルヒ、東京）、2019年「第8回アラカルト展」（船橋市民ギャラリー、予定）。Tシャツやジーンズ、カーテンなど身の周りの生活用品の表面に絵を描いて紙に転写した、日常生活を美術に転換する版画作品を制作している。



申し込み・問い合わせ先：船橋市民ギャラリー

電話番号：047-420-2111 / fax 番号：047-420-2112

Web：<https://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>

主催：船橋市教育委員会 / 公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社
協力：ふなばし美術学院

